

令和3（2021）年産水稲の作柄について

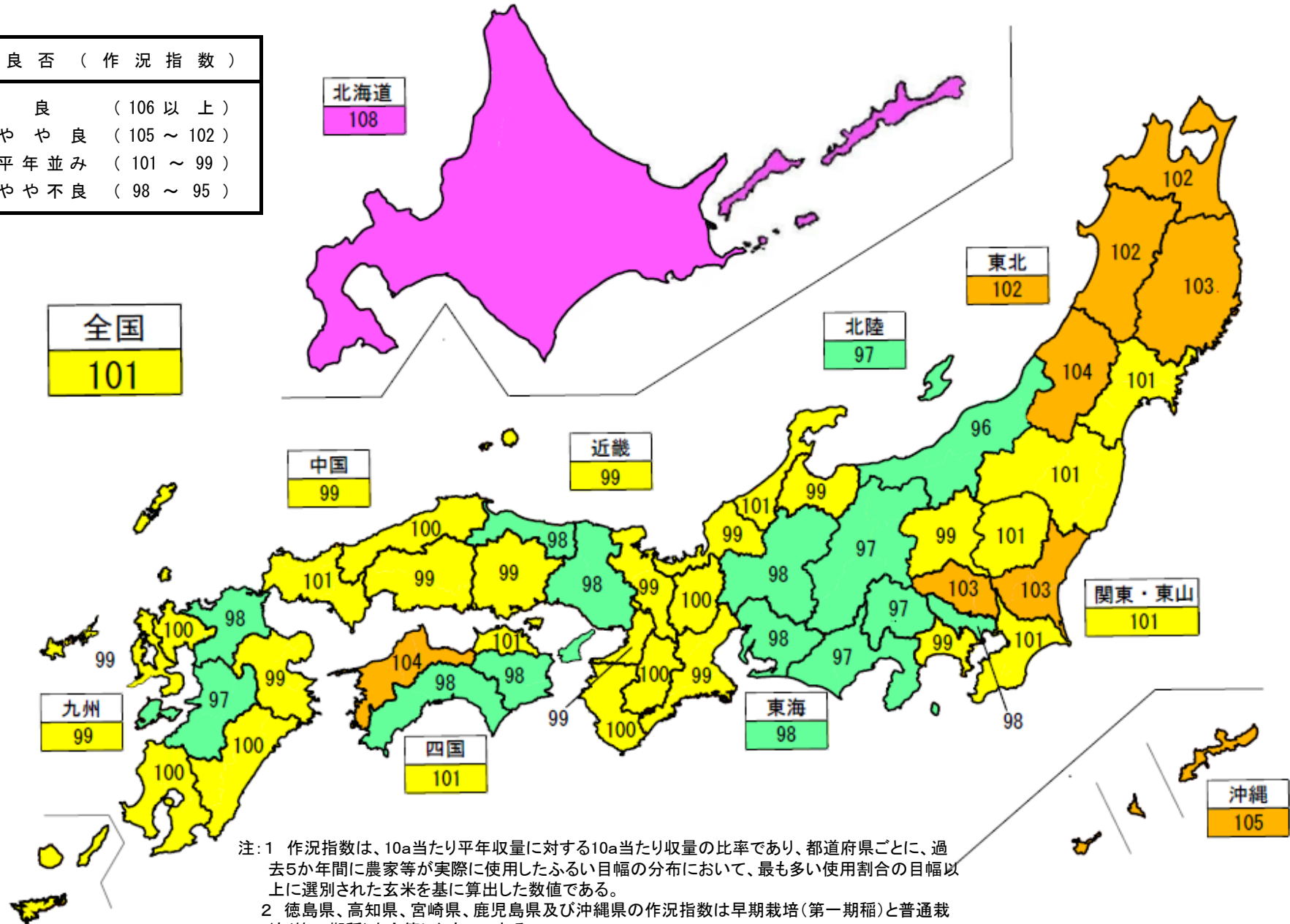
<目次>

令和3年産水稲の作況指数	1
令和3年産全国農業地域別作柄の特徴	2
水稲の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要	5

令和3年産水稻の作況指数

全国農業地域・都道府県別作況指数

作柄の良否（作況指数）	
良	（106以上）
やや良	（105～102）
平年並み	（101～99）
やや不良	（98～95）



令和3年産全国農業地域別作柄の特徴（1/3）

北海道 作況指数 108

- 全もみ数は、田植期以降、高温、多照で分けつが促進され、7月上・中旬の幼穂形成期も気象条件に恵まれ、『やや多い』となった。
- 登熟は、幼穂形成期から出穂期が高温・多湿で経過し開花・受精は順調に進み、その後も8月中旬の低温を除き平年並みの気候で経過し、粒の肥大・充実も順調であったため、『やや良』となった。

東北 作況指数 102

- 全もみ数は、田植期直後は日照不足であったものの、6月上旬からの天候回復で一部地域（宮城県）を除き概ね穂数が確保されたこと、幼穂形成期（7月中旬）から出穂期（8月上旬）の気象条件に恵まれ、『やや多い』又は『平年並み』となった。
- 登熟は、開花・受精から登熟初期までは順調に進んだものの、8月中旬や9月上旬の低温、日照不足による粒の肥大・充実の抑制がみられたことから、一部地域（山形県）を除き、『平年並み』又は『やや不良』となった。

北陸 作況指数 97

- 全もみ数は、田植期直後は日照不足で一部地域（新潟県、石川県）では穂数が少なめであったものの、幼穂形成期（7月中旬）から出穂期（8月上旬）の気象条件に恵まれたことや、1穂当たりもみ数が多かったため、『やや多い』又は『平年並み』となった。
- 登熟は、登熟初期が順調であった一部地域（石川県）を除き、8月中旬からの低温、日照不足による影響で『やや不良』となり、特に新潟県では8月上旬の台風による強風や高温による影響がみられた。

令和3年産全国農業地域別作柄の特徴（2/3）

関東・東山 作況指数 101

- 全もみ数は、6月以降総じて高温、多照で推移したことから、早場地帯は『やや多い』、遅場地帯においても7月中旬以降の高温、多照で『やや多い』又は『平年並み』となった。
- 登熟は、8月中旬以降の低温、日照不足によって粒の肥大・充実が抑制された地域もあり、一部地域（茨城県）を除き、概ね『平年並み』、『やや不良』となった。また、長野県では、いもち病の影響もあり『不良』となった。

東海 作況指数 98

- 全もみ数は、早場地帯は田植え直後、遅場地帯においても6月下旬から7月上旬の日照不足により、穂数が少なくなり『平年並み』又は『やや少ない』となった。
- 登熟は、8月中旬以降の低温、日照不足によって粒の肥大・充実が抑制された地域もあり、『やや不良』又は『平年並み』となった。

近畿 作況指数 99

- 全もみ数は、6月下旬から7月上旬の日照不足により分けつが抑制され、穂数が少なかったものの、1穂当たりもみ数が多かったため一部地域（滋賀県）を除いて『平年並み』を確保した。
- 登熟は、8月中旬以降が低温、日照不足となったものの、9月中旬以降の天候回復により、一部地域（兵庫県）を除き、『やや良』又は『平年並み』となった。

中国 作況指数 99

- 全もみ数は、6月下旬から7月上旬の日照不足によって初期生育が抑制されたものの7月中旬以降の高温、多照により『平年並み』又は『やや多い』となった。
- 登熟は、8月中旬以降の低温、日照不足のほか、一部地域（鳥取県）では台風による影響等がみられ、9月下旬以降の天候回復で持ち直したものの、『やや不良』又は『平年並み』となった。 3

令和3年産全国農業地域別作柄の特徴（3/3）

四国 作況指数 101

- ・ 全もみ数は、7月中旬以降の天候に恵まれ『やや多い』又は『平年並み』となった。
- ・ 登熟は、8月中旬からの低温、日照不足により粒の肥大・充実の抑制がみられた、一部地域（徳島県及び高知県（早期栽培））を除き、9月下旬以降は総じて多照で推移し登熟が順調に進んだことから、『やや良』又は『平年並み』となった。

九州 作況指数 99

- ・ 全もみ数は、田植期以降の日照不足により分けつが抑制されたこと、8月上旬の台風、中旬からの大雨と低温、日照不足により、一部地域（宮崎県（早期栽培））を除き、『やや少ない』又は『少ない』となった。
- ・ 登熟は、7月の大雨、8月上旬の台風、8月中旬からの大雨等による冠水、倒伏、潮風害等による被害地域は限定的で、9月中旬以降は総じて多照で推移したことから、『やや良』又は『良』となった。

沖縄 作況指数 105

- ・ 全もみ数は、第1期稲では安定した天候が続いたため『平年並み』となり、第2期稲では台風被害等もなく天候に恵まれたことから『やや多い』となった。
- ・ 登熟は、第1期稲では高温による影響はあったものの『平年並み』となり、第2期稲では台風被害等もなく、天候に恵まれたことから『やや良』となった。

水稻の作柄に関する委員会の意見に対する作柄の概要

「水稻の作柄に関する委員会（令和3年度第1回）の意見」（令和3年9月14日）の抜粋

2 次回の調査に当たって留意すべき事項

- (1) 早場地帯や遅場地帯ごとの生育ステージの違いによって、6月下旬から7月上旬の日照不足及び8月上中旬の台風、大雨等が穂数・もみ数等に与える影響を見極めるとともに、7月中旬から8月上旬の高温及び8月中旬からの低温、日照不足が登熟・品質等に与える影響について留意する必要がある。
- (2) 8月上旬の台風、中旬以降の大雨による冠水・倒伏等の被害が発生した地域では、登熟・品質等に与える影響を見極めるとともに、今後の台風や集中豪雨等による作柄への影響にも留意する必要がある。
- (3) いもち病、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類等の病虫害の発生が多いと予想される地域においては、その発生状況に留意する必要がある。

1 早場地帯における気象の影響

① 6月下旬から7月上旬の日照不足が穂数・もみ数等へ与える影響

6月下旬から7月上旬の日照不足があったものの、田植期以降の6月上・中旬は天候に恵まれ初期生育が順調であったこと、7月中旬から8月上旬にかけて幼穂形成期から出穂期の天候にも恵まれたため、総体的に全もみ数は確保された。

② 出穂後の高温、低温及び日照不足による登熟や品質への影響

新潟県で、8月上旬の台風や高温による登熟不良がみられ作柄が「やや不良」となった。一方で、他の地域では概ね8月上旬までの開花・受精から登熟初期までが順調に進み、一部地域では8月中旬からの低温、日照不足等の影響がみられたものの、8月下旬以降の天候回復によって適温、多照の中で登熟後期を迎えており、粒の肥大・充実も一定程度の確保がされた。

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:℃)										
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和 3年産 12月末現在	令和 2年産 確定	6月	7月			8月			9月			
								月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
北海道 (札幌)	354	105	17.4	103	108	88.1	93.0	日照時間	145	91	215	201	86	123	128	147	141	91
								平均気温	1.9	0.5	4.0	3.8	3.3	▲3.1	1.4	▲0.7	▲0.5	1.6
青森 (青森)	343	101	18.3	102	102	91.9	93.5	日照時間	140	116	202	137	106	60	83	126	144	126
								平均気温	1.8	1.5	3.2	1.6	1.9	▲3.1	1.0	▲1.8	0.0	1.6
岩手 (盛岡)	299	104	18.9	99	103	95.9	95.1	日照時間	125	23	228	147	104	59	65	115	158	119
								平均気温	1.8	0.0	4.0	2.3	2.6	▲3.0	1.1	▲2.6	0.0	2.4
宮城 (仙台)	304	102	18.4	99	101	93.5	90.9	日照時間	114	17	183	121	121	46	114	71	132	124
								平均気温	1.4	▲0.5	2.3	1.7	2.4	▲3.4	2.2	▲3.2	0.1	2.0
秋田 (秋田)	321	102	18.8	100	102	90.0	91.4	日照時間	135	103	245	171	132	64	59	101	155	131
								平均気温	1.2	2.0	3.2	2.4	3.0	▲2.3	0.6	▲2.2	▲0.1	2.4
山形 (山形)	332	104	19.2	101	104	93.7	94.7	日照時間	121	44	200	129	113	61	99	61	150	150
								平均気温	1.3	0.2	2.9	1.1	2.2	▲2.8	1.5	▲3.6	▲0.2	1.7
福島 (福島)	307	102	18.4	98	101	94.3	89.5	日照時間	102	29	206	122	125	43	107	45	125	131
								平均気温	1.3	▲1.0	2.7	0.9	2.1	▲3.5	1.4	▲4.3	▲0.4	2.0
茨城 (水戸)	314	102	17.7	102	103	82.7	81.6	日照時間	127	26	168	144	126	69	118	46	102	124
								平均気温	1.2	▲0.9	1.4	0.9	2.0	▲1.4	1.9	▲3.8	▲0.5	1.6
栃木 (宇都宮)	320	104	17.5	98	101	95.8	91.9	日照時間	109	28	146	139	127	52	94	46	107	121
								平均気温	0.6	▲1.2	1.2	0.9	1.9	▲3.0	1.8	▲4.4	▲0.5	1.5
千葉 (千葉)	315	102	17.8	99	101	90.2	90.9	日照時間	112	29	148	136	119	68	118	31	104	139
								平均気温	0.9	▲1.0	0.9	0.9	1.2	▲1.6	2.1	▲4.4	▲0.3	1.6
新潟 (新潟)	300	100	18.1	97	96	79.1	73.5	日照時間	119	77	210	152	117	46	82	71	149	154
								平均気温	0.6	0.9	1.8	0.8	2.4	▲2.4	0.4	▲2.7	▲0.3	2.2
富山 (富山)	289	102	19.5	98	99	93.5	90.2	日照時間	118	52	175	139	116	42	88	63	105	135
								平均気温	0.6	0.7	1.2	0.7	1.3	▲2.8	1.3	▲1.9	0.2	2.5
石川 (金沢)	286	99	18.8	102	101	91.0	88.4	日照時間	120	61	176	143	113	37	81	75	107	122
								平均気温	0.9	0.7	1.9	1.0	1.3	▲3.0	0.8	▲1.9	0.3	2.3
福井 (福井)	294	101	17.9	98	99	91.0	82.8	日照時間	120	32	178	144	113	32	68	71	89	139
								平均気温	0.9	0.5	1.6	0.7	0.6	▲2.8	0.4	▲1.4	0.4	2.8
長野 (長野)	341	103	18.0	95	97	95.7	94.7	日照時間	112	43	168	129	102	31	100	73	96	156
								平均気温	0.5	▲0.1	1.7	0.5	2.2	▲2.6	1.3	▲2.7	0.0	2.7
三重 (津)	282	99	18.0	100	99	47.7	39.4	日照時間	114	41	131	150	102	18	107	57	65	99
								平均気温	0.5	0.3	0.3	1.1	0.8	▲3.2	1.3	▲1.5	▲0.2	0.8
滋賀 (彦根)	295	98	17.9	102	100	79.3	67.5	日照時間	114	15	141	133	105	21	92	72	70	113
								平均気温	0.7	0.5	1.3	1.5	0.9	▲3.3	0.4	▲1.4	▲0.2	1.7
鳥取 (鳥取)	273	100	18.9	99	98	74.7	41.5	日照時間	100	27	149	139	107	15	62	55	91	120
								平均気温	0.6	0.7	1.0	0.4	0.4	▲3.1	1.1	▲0.9	0.5	3.0
島根 (松江)	295	104	18.2	99	100	72.5	64.7	日照時間	105	57	152	160	116	27	64	60	84	99
								平均気温	0.5	1.0	1.6	1.1	0.9	▲3.3	0.5	▲0.6	0.3	2.5

資料：『作物統計』、『米の農産物検査結果』、気象庁データにより作成した。

注：1 都府県名の下段の()書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふり目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稻うるち米の結果である。

4 日照時間における■は平年対比100%未満のものを、平均気温における■は平年差3℃以上のものを示している。

2 遅場地帯における気象の影響

① 6月下旬から7月上旬の日照不足による全もみ数への影響

6月下旬から7月上旬の日照不足によって初期生育が抑制されたこと、また8月中旬からの低温、日照不足も影響したこと等から、特に九州地域など十分に全もみ数を確保できない地域もみられた。

② 8月中旬からの低温・日照不足の登熟への影響

8月中旬からの低温、日照不足によって、開花・受精から登熟初期に影響がみられた地域がある一方、9月中旬以降は総じて多照で推移し粒の肥大・充実が促進され、特に九州地域などは登熟が良好となった。

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:℃)										
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和 3年産 12月末現在	令和 2年産 確定	6月 月間	7月			8月			9月			
									上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
群馬 (前橋)	292	99	17.2	100	99	90.7	83.2	日照時間	99	36	153	129	120	48	117	51	101	121
								平均気温	0.8	▲ 1.3	1.1	1.1	1.7	▲ 2.9	2.3	▲ 4.3	▲ 0.1	1.7
埼玉 (熊谷)	306	105	16.9	98	103	77.0	47.5	日照時間	109	28	162	125	135	59	107	42	97	130
								平均気温	0.7	▲ 1.4	0.9	1.2	1.6	▲ 3.0	2.2	▲ 4.5	▲ 0.3	1.7
東京 (東京)	...	nc	...	nc	98	-	-	日照時間	106	28	141	132	121	68	111	29	98	122
								平均気温	0.8	▲ 1.5	1.0	0.9	1.3	▲ 2.2	2.3	▲ 4.6	▲ 0.1	1.7
神奈川 (横浜)	277	100	18.0	99	99	34.2	29.9	日照時間	109	25	145	143	114	56	107	29	92	139
								平均気温	0.9	▲ 1.3	1.0	1.3	1.3	▲ 2.3	2.1	▲ 4.6	▲ 0.3	1.7
山梨 (甲府)	298	99	18.1	99	97	81.2	81.4	日照時間	107	27	157	114	113	32	102	57	89	160
								平均気温	0.4	▲ 0.8	0.8	0.3	1.3	▲ 3.2	1.6	▲ 2.7	▲ 0.1	1.3
岐阜 (岐阜)	262	98	18.7	101	98	63.2	49.2	日照時間	105	27	162	118	115	18	100	74	69	105
								平均気温	0.6	▲ 0.2	0.9	1.3	0.7	▲ 3.4	1.0	▲ 1.9	▲ 0.2	1.2
静岡 (静岡)	282	100	18.4	98	97	85.2	78.1	日照時間	118	35	162	134	124	30	117	61	81	163
								平均気温	0.4	0.2	0.6	0.9	1.3	▲ 2.0	1.3	▲ 1.9	▲ 0.1	1.1
愛知 (名古屋)	285	100	17.8	98	98	60.9	48.9	日照時間	101	31	161	112	120	17	109	67	59	114
								平均気温	0.4	0.0	0.6	1.0	0.9	▲ 3.4	1.3	▲ 1.7	▲ 0.3	1.0
京都 (京都)	279	100	18.4	99	99	73.6	60.3	日照時間	112	23	123	145	93	21	94	73	43	116
								平均気温	0.6	0.5	0.2	1.0	0.3	▲ 3.9	1.0	▲ 1.3	▲ 0.3	2.0
大阪 (大阪)	289	100	17.2	99	99	53.1	41.4	日照時間	113	23	118	144	97	20	103	68	44	127
								平均気温	0.3	0.1	▲ 0.1	0.7	0.2	▲ 4.0	0.7	▲ 1.6	▲ 0.8	1.4
兵庫 (神戸)	270	100	18.5	97	98	64.6	44.9	日照時間	110	21	118	142	102	16	94	69	44	128
								平均気温	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	▲ 3.6	0.5	▲ 1.7	▲ 0.9	1.6
奈良 (奈良)	295	100	17.6	99	100	94.3	75.1	日照時間	105	25	135	156	90	20	103	65	36	117
								平均気温	0.9	1.0	0.8	1.4	0.7	▲ 3.3	1.6	▲ 0.8	0.2	2.2
和歌山 (和歌山)	283	99	17.9	101	100	45.2	26.1	日照時間	106	33	116	147	90	12	104	67	36	112
								平均気温	0.1	0.5	▲ 0.9	0.0	▲ 0.1	▲ 3.3	0.7	▲ 0.7	▲ 0.7	1.4
岡山 (岡山)	295	104	18.2	96	99	75.5	70.6	日照時間	107	32	108	167	139	7	96	50	45	117
								平均気温	0.5	0.7	▲ 0.6	0.9	0.8	▲ 3.9	0.9	▲ 0.7	▲ 0.2	2.3
広島 (広島)	288	100	18.6	98	99	85.9	86.1	日照時間	106	31	nc	167	124	9	73	59	41	109
								平均気温	0.6	0.8	▲ 0.4	0.9	0.7	▲ 4.1	0.1	▲ 0.8	▲ 0.2	1.9

	1㎡当たり 全もみ数		千もみ当たり 収量		作況 指数	1等米比率(%)		日照時間(平年対比:%)及び平均気温(平年差:℃)										
	(百粒)	平年比	(g)	平年比		令和 3年産 12月末現在	令和 2年産 確定	6月	7月			8月			9月			
								月間	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
山口 (山口)	294	105	17.8	97	101	81.0	62.5	日照時間	112	38	110	172	106	16	71	57	46	109
								平均気温	1.0	1.6	0.5	0.5	0.7	▲3.3	0.4	▲0.1	0.4	2.7
徳島 (徳島)	292	102	16.2	96	98	44.1	48.1	日照時間	104	45	120	164	113	3	104	61	53	131
								平均気温	0.2	0.3	▲0.3	0.8	0.7	▲3.6	0.4	▲0.7	▲0.6	1.8
香川 (高松)	293	102	17.7	101	101	20.1	20.0	日照時間	99	29	98	167	121	5	105	60	39	122
								平均気温	0.3	0.6	▲0.6	0.8	0.7	▲4.1	1.0	▲0.7	▲0.4	2.1
愛媛 (松山)	287	100	18.1	102	104	48.4	42.5	日照時間	109	32	100	152	108	4	97	62	47	107
								平均気温	0.5	1.3	▲1.0	0.2	0.1	▲3.3	1.3	▲0.3	▲0.2	1.7
高知 (高知)	259	100	17.8	98	98	19.0	19.8	日照時間	95	46	119	172	112	5	109	72	54	95
								平均気温	▲0.1	1.1	▲1.4	0.0	0.5	▲3.1	0.4	0.3	▲0.1	1.1
福岡 (福岡)	277	94	17.5	102	98	30.4	7.5	日照時間	129	58	134	134	99	20	94	87	56	133
								平均気温	0.9	2.3	1.2	0.9	0.2	▲4.0	1.0	0.4	0.4	2.8
佐賀 (佐賀)	288	93	18.1	105	100	67.0	45.8	日照時間	137	69	129	122	97	25	102	77	77	144
								平均気温	1.3	1.6	0.7	1.1	0.2	▲3.8	1.0	0.4	0.7	2.9
長崎 (長崎)	265	92	18.1	105	99	60.5	30.2	日照時間	130	84	106	111	106	25	97	78	59	146
								平均気温	0.7	1.7	0.4	0.9	0.2	▲3.2	0.5	▲0.1	0.1	2.1
熊本 (熊本)	282	94	17.8	102	97	35.2	28.6	日照時間	120	52	108	123	85	16	101	85	76	144
								平均気温	0.9	1.0	▲0.3	0.8	▲0.7	▲4.3	0.5	0.2	0.3	2.5
大分 (大分)	286	96	17.3	101	99	65.5	45.1	日照時間	102	37	101	131	77	14	114	74	44	115
								平均気温	0.8	1.2	▲1.0	0.2	0.1	▲3.5	1.4	0.6	0.0	1.9
宮崎 (宮崎)	277	96	18.0	102	100	58.9	43.1	日照時間	90	91	83	99	91	4	138	104	54	129
								平均気温	0.0	1.5	▲1.8	▲0.5	0.3	▲3.0	0.7	1.1	0.1	1.8
鹿児島 (鹿児島)	266	94	18.3	103	100	49.2	38.0	日照時間	119	79	87	98	103	6	119	101	78	154
								平均気温	0.5	1.1	▲1.0	▲0.1	0.0	▲2.9	0.0	0.2	0.0	2.1
沖縄 (那覇)	...	nc	...	nc	105	59.3	61.2	日照時間	70	112	105	48	66	92	130	109	121	149
								平均気温	▲0.1	0.1	0.2	▲1.1	▲0.8	▲0.5	0.4	0.6	0.4	1.7

資料：『作物統計』、『米の農産物検査結果』、気象庁データにより作成した。

注：1 都府県名の下段の()書きはアメダス地点名である。

2 作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

3 1等米比率は、政策統括官付穀物課「米の農産物検査結果」における水稲うるち米の結果である。

4 日照時間における■は平年対比100%未満のものを示している。

3 台風等による作柄への影響

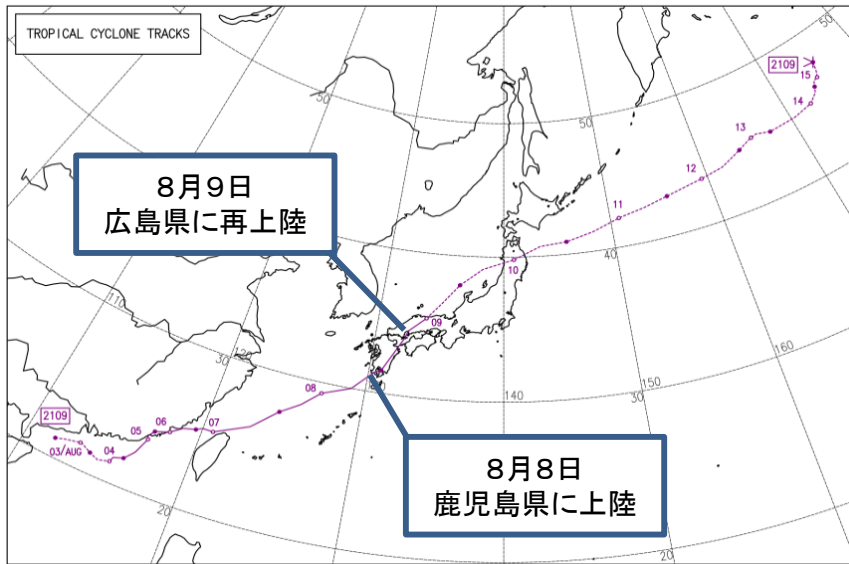
7月1日からの大雨、7月下旬の台風第8号、8月上旬の台風第9号及び第10号、8月11日からの大雨、9月中旬の台風第14号の影響によって、本州の広い範囲で倒伏、浸冠水等の被害が発生したほ場がみられたところであり、長時間冠水したほ場では品質低下や登熟等への影響、また出穂開花期を迎えていたほ場では、風雨によるもみ擦れや台風通過後の高温による登熟への影響がみられた。

災害名	主 なる 都道府県	被害面積	被害量	災害名	主 なる 都道府県	被害面積	被害量
		ha	t			ha	t
令和3年7月水害	鳥取	312	647	台風第9号、第10号 及び温帯低気圧 (続き)	広島	765	542
	島根	1,260	376		香川	1,420	364
	広島	161	137		愛媛	760	189
	鹿児島	252	208		高知	1,310	342
台風第9号、第10号 及び温帯低気圧	青森	332	841		福岡	4,590	4,960
	福島	97	518		佐賀	9,230	7,430
	千葉	45	772		長崎	237	196
	新潟	4,530	1,210		熊本	85	111
	長野	356	469		鹿児島	2,700	460
	鳥取	1,350	473		台風第14号	高知	96
	島根	1,430	420	沖縄	2,040	954	

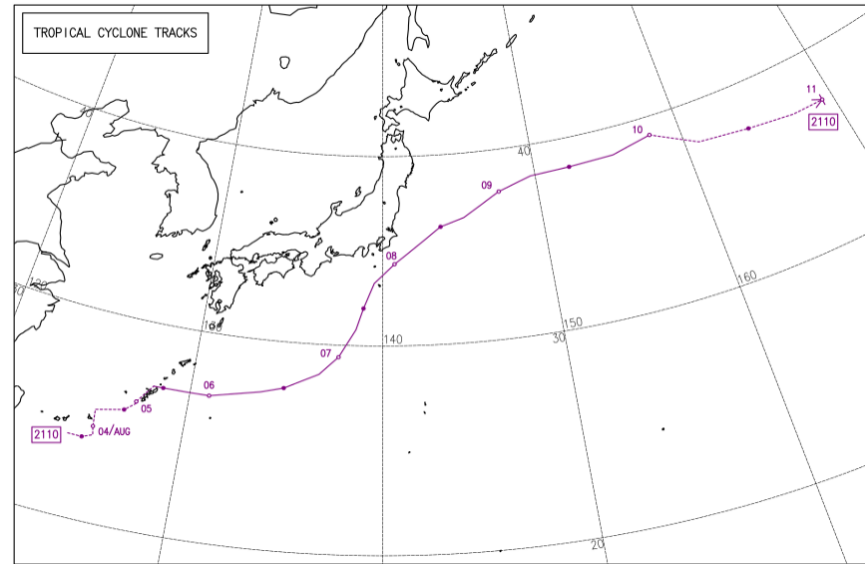
データ：「農作物災害種類別被害統計」

注：主な都道府県は被害量が100 t以上を記載した。

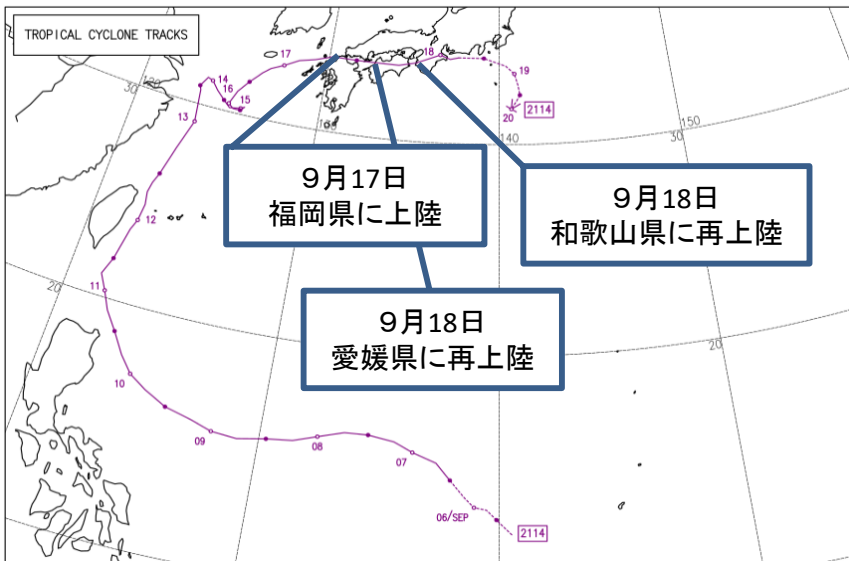
台風第9号経路図



台風第10号（接近）経路図



台風第14号経路図



データ：気象庁「台風経路図 令和3年（2021年）」及び「台風位置表 令和3年（2021年）」

4 病虫害の発生による作柄への影響

① いもち病（穂いもち）

東海以西で例年に比べて20日間程度梅雨が長引いたほか、8月中旬以降も多雨、日照不足で推移したことから発生しやすい気象条件が続いたため、複数の県で注意報が発表され、早期の薬剤散布が指導された。

その結果、各地域における防除の徹底もあり、長野県、熊本県などの一部地域では穂いもちによる減収がみられたものの、全国的には大きな被害とはなっていない。

② トビイロウンカ

令和2年産で、東海以西で多発生し甚大な被害をもたらしたトビイロウンカは、昨年の被害を受け、長期間薬効を維持できる農薬の育苗箱への施用が普及、推進されたほか、早期防除が徹底されたことから、昨年よりも高い防除効果が得られたものと考えられ、大きな被害は発生していない。

なお、令和2年は8月から9月が高温、少雨で推移し、トビイロウンカの増殖には好適な気象条件であったこと等、昨年と発生状況が違うことも一因と考えられる。

③ 斑点米カメムシ類

北東北、南関東、東海、中国及び四国の一部の地域で「多い」と予想され、着色粒の発生など品質低下が懸念されていたものの、その後の防除の徹底により大きな被害の発生とはならず、全国的にみると平年並みの被害となっている。

病虫害の被害量

都道府県	令和3年産 作況指数	いもち病 (t)			ウンカ (t)			カメムシ (t)		
		令和3年産	令和2年産	令和元年産	令和3年産	令和2年産	令和元年産	令和3年産	令和2年産	令和元年産
北海道	108	54	74	105	51	52	48	294	257	617
青森	102	200	1,370	65	20	32	34	150	1,220	1,180
岩手	103	1,890	5,470	880	3	3	2	108	650	121
宮城	101	1,620	2,450	1,750	3	2	2	170	600	379
秋田	102	868	8,710	2,590	6	3	9	128	340	597
山形	104	4,400	5,190	2,680	26	20	81	566	436	530
福島	101	4,180	4,370	845	26	26	32	426	570	400
茨城	103	3,090	2,850	2,260	220	230	319	1,440	1,720	4,070
栃木	101	4,100	5,000	3,100	220	470	570	240	880	470
群馬	99	1,100	788	977	280	322	333	145	119	115
埼玉	103	1,340	1,570	600	380	211	600	187	181	200
千葉	101	2,200	2,550	3,980	30	30	30	410	450	730
東京	98	1	2	0	0	1	0	0	0	0
神奈川	99	45	6	-	40	70	0	1	1	0
新潟	96	2,170	1,670	658	568	385	348	825	610	510
富山	99	143	43	43	1	2	4	360	75	19
石川	101	370	46	77	1	1	20	10	15	18
福井	99	1,420	670	152	22	26	25	170	210	260
山梨	97	520	500	450	15	25	18	55	42	35
長野	97	4,490	2,970	1,310	90	100	100	370	500	400
岐阜	98	1,930	1,900	1,450	172	692	217	770	921	836
静岡	97	1,220	689	653	150	4,100	1,020	428	428	310
愛知	98	1,140	1,080	1,630	76	4,140	140	325	353	603
三重	99	1,930	1,200	1,320	52	142	113	472	903	384
滋賀	100	3,320	1,850	1,980	179	977	984	134	214	216
京都	99	220	43	58	20	354	112	150	138	58
大阪	99	430	300	290	20	1,400	400	20	32	30
兵庫	98	2,880	650	350	50	3,770	456	250	1,110	429
奈良	100	1,260	1,250	1,240	50	3,050	180	90	80	70
和歌山	100	458	295	240	122	1,750	400	55	78	120

病虫害の被害量（続き）

都道府県	令和3年産 作況指数	いもち病（t）			ウンカ（t）			カメムシ（t）		
		令和3年産	令和2年産	令和元年産	令和3年産	令和2年産	令和元年産	令和3年産	令和2年産	令和元年産
鳥取	98	704	502	208	30	225	60	35	75	61
島根	100	325	470	1,080	50	500	490	85	100	100
岡山	99	2,650	2,590	1,380	400	3,720	2,160	460	521	500
広島	99	3,560	971	1,300	44	3,070	1,000	67	587	409
山口	101	1,710	680	790	67	17,200	1,950	752	261	400
徳島	98	1,300	312	421	190	91	22	180	177	133
香川	101	780	840	1,000	130	470	230	130	150	150
愛媛	104	890	735	677	132	2,340	677	131	200	270
高知	98	1,200	1,190	1,250	84	970	2,100	177	160	194
福岡	98	2,570	1,660	2,050	132	2,890	2,210	532	253	297
佐賀	100	1,980	860	2,530	108	1,520	6,790	20	46	48
長崎	99	183	348	743	98	1,540	1,790	96	102	70
熊本	97	6,220	2,600	2,320	649	4,980	4,100	114	62	70
大分	99	2,830	3,060	2,350	225	4,520	3,500	90	102	62
宮崎	100	3,240	2,710	2,840	112	1,630	3,070	142	331	361
鹿児島	100	3,450	3,070	3,190	28	2,590	3,870	615	778	764
沖縄	105	9	12	10	1	0	-	-	7	-

データ：「作物統計」

注：作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅ベースである。

○病虫害発生予報第6号（令和3年8月4日発表）抜粋

- ・いもち病：東北、北関東、甲信、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・トビイロウンカ：東海以西を中心に多発生となった昨年と同様に、本年も東海以西で、昨年よりも早い時期から本虫の誘殺が確認され、一部の地域ではほ場での発生も確認されています。
- ・斑点米カメムシ類：北海道、東北、甲信、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

○病虫害発生予報第7号（令和3年9月8日発表）抜粋

- ・いもち病（穂いもち）：関東、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・斑点米カメムシ類：北東北、南関東、東海、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。